

# 西諸県地域基本計画 (地域プラン)

## 西諸県農林振興局

令和8年3月

西諸県農林振興局

### 目次

(ページ)

1	計画の性格と役割	1
2	地域農業・農村の特性	2
3	現状・課題	3
4	目指す将来像	3
5	重点的施策一覧	4
6	各重点的施策 (No 1～No 5)	5～12

## 1 計画の性格と役割

本計画は、本地域における農業・農村の持続的発展に向け、目指す将来像や重点的施策をとりまとめたもので、以下の役割を有します。

なお、本計画は、「地域農業・農村の特性」、「現状・課題」、「目指す将来像」、「重点的施策」で構成し、重点的施策においては、各施策毎に「全体計画」として令和8年度から令和12年度の5年間で取り組む内容や目標を示しています。実施に際しては、別途「単年度計画」を作成し、より具体的に実施内容や時期等を明らかにした上で取り組みます。

本計画が、農業者、市町村、農業関係団体等における諸計画や産地振興等に向けた共通指針として活用されることを期待します。

- 第八次宮崎県農業・農村振興長期計画における、目標や目指す将来像実現に向けた具体的な施策である「基本計画」のうち「地域」における具体的な展開方向を示す計画として位置付けます。
- 農業改良助長法における協同農業普及事業の運営に関する指針及びガイドライン、県協同農業普及事業の実施に関する方針に基づく普及指導活動計画として位置付けます。
- 令和4年度に改正された農業経営基盤強化促進法に基づく「地域計画」の策定を踏まえ、地域計画の実現に向け重点的に支援する地区を本計画に位置付けます。

## 2 地域農業・農村の特性

- 西諸県地域は、農業産出額の約74%を占める畜産を中心に、水稻、野菜、果樹、花き、茶など多様な農産物が生産されており、県内有数の農業地帯となっています。

※ R5年実績

- 当地域の耕地面積は、畑地の割合が約55%を占め、県全体割合（47%）と比較して高くなっています。

※ R5年実績  
また、畑かん水を利用した営農の実現に向け、畑地かんがい施設の整備を進めています。

- 農地中間管理事業が活用され、担い手への農地集積率は約60%で、県全体（約59%）と同程度となっています。

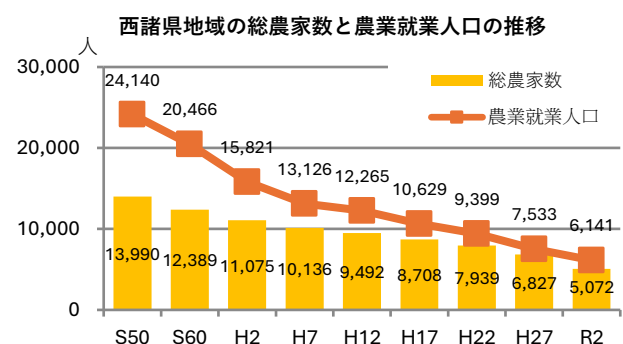
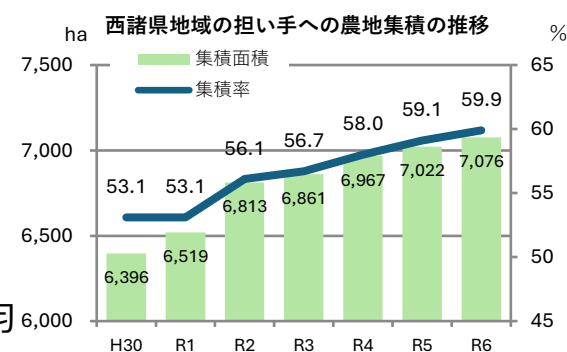
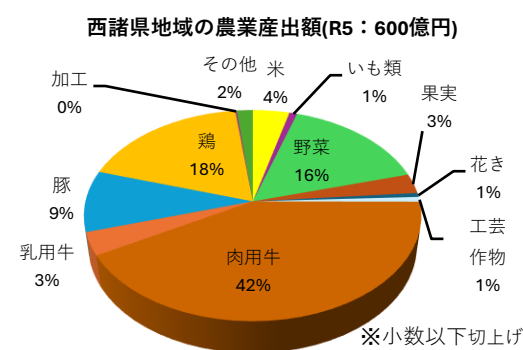
※ R6年度実績

- 農業法人数(166法人)は増加しており、当地域の主要な担い手に位置づけられます。

※ R5年度実績

- 農家数、農業就業人口ともに減少傾向が続いています。また、管内市町の農家の平均年齢、高齢化率ともに、県平均と比べ高くなっています。

- 火山活動や地球規模での気候変動、家畜疾病、鳥獣被害、新奇病害虫などのリスクが顕在化しています。



### 3 現状・課題

- 担い手が減少する中、第三者承継を含む新規就農者の確保に加え、地域の核となる法人経営体や認定農業者の育成など、担い手の確保・育成が急務となっています。
- 飼料自給率の向上をはじめ、家畜排せつ物の有効利用など、資源循環による持続的で環境にやさしい農業の展開が求められています。
- 農作業の効率化による生産性向上を図るため、担い手への農地の集積・集約や、基盤整備、スマート農業技術の導入が必要となっています。さらに、産地の生産規模を維持するため、遊休化が見込まれる農地や施設・機械等を意欲ある担い手に着実に承継していく必要があります。
- 顕在化する様々なリスクに的確に対応するため、営農対策や防疫対策の強化が必要となっています。特に、気候変動に伴う高温障害等への対応が求められています。

### 4 目指す将来像

#### ‘革新’と‘共創’で築く魅力ある「にしもろ農業・農村」

- 耕畜連携により地域内自給飼料が確保されるとともに、家畜排せつ物由来の堆肥が有効活用されることにより、持続可能な生産性の高い畜産産地が形成されています。
- 生産基盤の整備やスマート技術の導入が図られるとともに、生産体制の安定強化により、加工・業務用野菜を中心とした儲かる畑作農業が展開されています。
- 施設園芸における環境制御等の先進技術の活用と、事業承継等による担い手の確保・定着により、持続的で収益性の高い園芸産地が展開しています。
- 気候変動に対応した主食用米の生産性向上や水田利用栽培体系が確立し、農地の効率的な利用に向けた生産基盤の整備により、安定的な水田経営が実現しています。

3

### 5 重点的施策一覧

No1 : 耕畜連携が育むしなやかで強い畜産産地づくり

No2 : 加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり

No3 : 先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり


No4 : 気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
1	耕畜連携が育むしなやかで強い畜産産地づくり	農畜産課長 / 農業経営課長	R8～12
対象地域		対象者	
小林市、えびの市、高原町		コントラクター組織、畜産農家、耕種農家	

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	1.地域内自給飼料（WCS・飼料用米・稲わら等）の拡大による持続可能な畜産経営が確立 2.堆肥の活用推進による肥料費の低減と土壌改良が実現 3.生産性の向上と損耗防止による儲かる畜産経営が実現  ※損耗防止:子牛胎児、出生子牛の死産事故や、発育不良等を防止すること。	
必要な 取組	① 耕畜連携の推進体制の構築 ② 耕畜連携を担う事業者の参入加速化 ③ 個別経営体の飼料生産体制の強化 ④ 肉用牛経営の生産性向上	

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● コントラクターの飼料生産面積（ha）	572	700	● 分娩間隔の短縮（日）	406.5	400

※1：「●」は重点指標（成果指標）

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地 企	農 畜	農 計	農 整	地 支	農 経	他	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
<b>取組①：耕畜連携の推進体制の構築</b>												
内容1：協議会の設置による企画・運営体制の確立		●			○	○	市、町、JA	●	→			
内容2：協議会による補助事業の活用推進	○	●				○	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容3：協議会による畜産農家とコントラクターとのマッチング		○			○	●	市、町、JA		●	→	→	→
<b>取組②：耕畜連携を担う事業者の参入加速化</b>												
内容1：大規模水田経営体等のコントラクターへの参入促進		○			○	●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容2：オペレーター人材の確保・育成		○			○	●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容3：コントラクター版経営管理指針の作成		○				●	市、町、JA	●	→			
<b>取組③：個別経営体の飼料生産体制の強化</b>												
内容1：畜産農家の自給飼料生産の拡大		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容2：堆肥利活用の推進		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
<b>取組④：肉用牛経営の生産性向上</b>												
内容1：子牛育成・繁殖改善マニュアルの作成・普及		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容2：暑熱・寒冷対策の推進		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→
内容3：セリ前講習会等による基本技術の定着		○				●	市、町、JA	●	→	→	→	→

【補足説明】


● 各課題の中心的な担当者として、主務課を●、副主務課を○として記載しているが、いずれの課題も局全体の課題であり、適宜、協議・情報共有する。

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
2	加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり	農村計画課長 / 農業経営課長	R 8～12
対象地域		対象者	
小林市、えびの市、高原町		加工・業務用野菜生産法人等	

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほ場条件の改善により生産性が向上</li> <li>経営体間の連携強化により生産性が向上</li> <li>安定生産体制の構築により優良産地を維持・拡大</li> </ol>	
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>畑地の高度利用に向けた基盤づくり</li> <li>地域の核となる経営体の育成</li> <li>加工・業務用野菜等の生産安定化</li> </ol>	

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● 畑かん施設整備面積(ha) (一部水田受益含む)	1,576	2,231	● 加工・業務用野菜の栽培 面積(ha) (ほうれんそう、だいこん、にんじん、 かんしょ)	988 (R5)	1,000

※1：「●」は重点指標（成果指標）

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	連携体制						R8	R9	R10	R11	R12
	地企	農畜	農計	農整	地支	農経					
<b>取組①：畑地の高度利用に向けた基盤づくり</b>											
内容1：畑地かんがい施設整備及びほ場整備の着実な推進			●	○			市町村、土地改良区	●	→	→	→
内容2：畑かん水を活用した営農技術の確立・普及			○	○		●	畑作農業者	●	→	→	→
内容3：農業土木技術と営農技術の連携によるほ場排水性向上対策の確立・普及			○	○		●	畑作農業者	●	→		
<b>取組②：地域の核となる経営体の育成</b>											
内容1：大規模法人による情報交換・連携の強化	○	○			●	○	農業委員会、法人	●	→		
内容2：生産性向上に向けたスマート農業技術の実証・導入		○			○	●	JA、法人、大規模農業者	●	→	→	→
内容3：雇用就農者の基本技術習得		○			●	○	法人	●	→	→	→
<b>取組③：加工・業務用野菜等の生産安定化</b>											
内容1：加工・業務用野菜等の安定生産技術の確立・普及		○			○	●	JA、法人、大規模農業者	●	→	→	→
内容2：さといも種芋の安定供給に向けた種芋生産体制の強化		○			○	●	JA、法人、大規模農業者	●	→	→	→
内容3：原料用かんしょの生産と種苗供給体制の強化		○			○	●	JA、法人、大規模農業者	●	→	→	→

【補足説明】


・ 各課題の中心的な担当者として、主務課を●、副主務課を○として記載しているが、いずれの課題も局全体の課題であり、適宜、協議・情報共有する。

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
3	先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり	地域支援課長／農畜産課長	R 8～12
対象地域		対象者	
小林市、えびの市、高原町		マンゴー、ぶどう・なし、促成きゅうりの新規就農者及び生産部会等	

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> <li>きゅうり、マンゴーで生産性が向上し、収益性の高い施設園芸が展開</li> <li>ぶどう・なしで産地再編が進み、魅力ある産地が形成</li> <li>マンゴー、ぶどう・なし、促成きゅうりで事業承継等により、新たな担い手が確保・育成</li> </ol>	
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>スマート技術の導入による生産性の向上</li> <li>産地ビジョンの策定と省力化技術の導入</li> <li>就農希望者の受入れと確実な定着に向けた体制の整備</li> </ol>	

#### （2）目標

指標	R 6（基準）	R12（目標）	指標	R 6（基準）	R12（目標）
●マンゴー平均反収（t/10a）	1. 6 8	1. 8 0	● 第三者承継者数（人） （定義：事業を引継ぎ、経営を開始した人）	0	3
●環境モニタリング装置導入戸数 促成きゅうり（戸）	8	1 2			

※1：「●」は重点指標（成果指標）

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地 企	農 畜	農 計	農 整	地 支	農 経	他	R	R	R	R	R
								8	9	10	11	12
<b>取組①：スマート技術の導入による生産性の向上</b>												
内容1：環境データの活用による促成きゅうりの反収の向上		○				●	JA、部会	●	→	→	→	→
内容2：環境制御技術等を活用したマンゴーの品質向上		○				●	JA、部会	●	→	→	→	→
<b>取組②：産地ビジョン策定と省力化技術の導入</b>												
内容1：ぶどう・なしの園地台帳の整備及び産地の目指すべき姿の共有		○			○	●	JA、市町、振興会	●	→	→	→	→
内容2：ぶどう・なし経営の労力分散に対応した省力栽培技術の実証・普及		○				●	JA、振興会	●	→	→	→	→
<b>取組③：就農希望者の受入れと着実な定着に向けた体制の整備</b>												
内容1：産地維持のための就農研修体制の充実・強化	○				●	○	市町、JA、部会	●	→	→	→	→
内容2：マンゴー等の第三者承継を含む円滑な就農の促進	○				●	○	市町、JA、部会	●	→	→	→	→
内容3：確実な定着に向けた個別指導による伴走支援の強化	○				●	○	市町、JA	●	→	→	→	→

【補足説明】


・ 各課題の中心的な担当者として、主務課を●、副主務課を○として記載しているが、いずれの課題も局全体の課題であり、適宜、協議・情報共有する。

## 6 各重点的施策

No	施策名	リーダー／サブリーダー	支援期間
4	気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立	農業経営課長／農村整備課長	R 8～12
対象地域		対象者	
小林市、えびの市、高原町		大規模水田利用農業者を中心とした農業者等	

### 全体計画（5年間計画）

#### （1）目指す将来像と必要な取組

5年後に 目指す 将来像	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作業効率のよい農地が拡大</li> <li>2. 品質のよい主食用米を核とした安定した営農が展開</li> <li>3. 西諸県における水田営農モデルが実現</li> <li>4. 経営体間の連携強化により生産性が向上</li> </ol>	
必要な 取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 水田の高度利用に向けた基盤づくり</li> <li>② 主食用米の品質向上対策</li> <li>③ 水田転作・裏作作物の振興</li> </ol>	

#### （2）目標

指標	R6（基準）	R12（目標）	指標	R6（基準）	R12（目標）
● 水田のほ場整備面積(ha)	2,696	2,762	● 高温でも品質等が優れる 新品種の作付面積(ha)	0	100

※1：「●」は重点指標（成果指標）

#### （3）必要な取組ごとの実施内容と連携体制（全体像）

取組事項	地 企	農 畜	農 計	農 整	地 支	農 経	他	R	R	R	R	R
								8	9	10	11	12
<b>取組①：水田の高度利用に向けた基盤づくり</b>												
内容1：生産性向上に向けた基盤整備の推進			○	●		○	J A・市町等関係機 関	●	→			
内容2：水田営農モデル地区での「地域計画」実現に向けた支援	○	○			○	●	J A・市町等関係機 関	●	→			
<b>取組②：主食用米の品質向上対策の普及</b>												
内容1：既存品種における水管理技術の精度向上		○				●	J A・市町等関係機 関	●	→			
内容2：高温でも品質等が優れる新品種の導入		○				●	J A・市町等関係機 関	●	→			
<b>取組③：水田転作・裏作作物の振興</b>												
内容1：営農モデル経営体の育成に向けた指針作成		○				●	J A・市町等関係機 関	●	→			
内容2：水田裏作作物の栽培実証		○				●	J A・市町等関係機 関			●	→	
内容3：省力・低コスト栽培技術の普及		○				●	J A・市町等関係機 関	●	→			
内容4：大規模稲作経営体の情報交換・連携強化	○	○			●	○	J A・市町等関係機 関	●	→			

【補足説明】

● 各課題の中心的な担当者として、主務課を●、副主務課を○として記載しているが、いずれの課題も局全体の課題であり、適宜、協議・情報共有する。